

G 3 部会 研究の成果と課題

1 指導計画の工夫について

単元を通して、発展問題については触れる程度とし、基礎的な問題の反復学習に時間を多く取った。その結果、基礎基本が定着し、算数に対する苦手意識がだいぶ解消され、意欲的に取り組む姿が見られるようになった。

また、単元の中で学び直しの時間を多く取り、その学習の内容を細分化し、1時間の内容を限定して指導したところ、集中して取り組むことができ、学習内容が定着してきた。

しかし、復習に時間をかけると、時数が足りなくなること考えられるので、児童の実態に合わせてどのように学習内容を精選していくかが今後の課題である。

2 指導方法及び指導過程の工夫について

授業の始めに復習の時間を入れ、前時までの既習事項を振り返ることで、それを本時の学習に生かし、学習活動をスムーズに進めることができた。

学習課題については、児童の身近な内容や数値にすることで、興味関心を喚起し取り組みやすくなった。

自力解決については、言葉などを色分けしたり、図式化したりしながらノートをしっかりまとめさせるようにしたところ、そのノートを参考にしながら、自分の考えをもてるようになってきた。

学び合いについては、教師の支援を受けながら発表することで、友達との共通点や相違点に気付くことができるようになってきた。

今後は、自力解決のための基礎的な力を着けることが課題である。

3 評価の工夫について

常時、期間巡視をすることで、一人一人の学習の取り組みの様子や理解度を把握し、個に応じた適切な支援を行うことができた。

また、振り返りカードや一言感想などで、自分の学習を振り返らせることで、定着度や意欲を見取ることができた。

今後の課題としては、学習チェックカードのより効果的な活用について検討していきたい。